



学校だより

《学校教育目標》 (知) 主体的に学ぶ生徒

(徳) 正しく判断できる生徒

(体) 心身を鍛える生徒

<No. 12> 令和6年3月1日

さいたま市立白幡中学校

〒336-0022 さいたま市南区白幡2-18-13

TEL 048-861-3203 (学校)

866-5789 (相談室)

<https://shirahata-j.saitama-city.ed.jp>



温かい

校長 渡邊 哲哉

2月当初の降雪の後から、半袖にしても暑いと感じる日や歩くのも辛いほどの強風で寒さが戻るなど、季節が冬から春へと変わりゆく途中、気候の変化の激しさに、体調管理の難しさを感じています。学校では、インフルエンザの流行を迎え、学級閉鎖を実施した学級もある中、3年生は入学試験の大半を終了し、県公立高校の結果を待っているところとなりました。2年生はこの強風は福島で雪の降っている証と考え、寒さを乗り越え楽しさを味わうために準備に力が入っています。1年生は中学校生活1年目の締めくくりとして、学習のまとめと進級に向けた準備に力が入っているようです。

そんな中、先日嬉しい報告を受けました。ある職員から、担任する生徒との会話の中で、「勉強すると力がつくのが分かった」と報告を受けたそうでした。詳しく聞いてみると、2学期の中間試験では、努力はしたものの思うような結果は伸びず、少し良かった程度でした。本人はがっかりし、家庭でも保護者から強めに反省を促されたそうで、しばらく元気がない様子でした。それに気付いた担任が話を聞き、その中でもできるようになった点を答案と見合わせながら確認していったところ、少しずつ元気を取り戻しました。期末試験前の三者面談の際、担任より元気がなかったことや中間試験での向上点を保護者に伝えたところ、ご理解いただき、保護者は「言い過ぎたので気を付ける」と本人に約束してくださいました。期末試験終了後、本人に確認すると「これまでできなかったところで、できるようになったことを褒めてもらえた。次回の課題を話し合っで自分で目標を決めた。頑張ってみる。」と報告を受けたそうです。冬休み明けには、「毎日、やったことを報告したら、『頑張ってるね』と褒めてくれたので、少しだけ多めにできました。」と言ってきました。最近、学年末試験に向けて「目標を立てたら『欲張らずに余裕ができたなら少し増やす方がいい』とアドバイスされたので、小さめに目標を立てた。だいたいできたので難しいことにチャレンジしている。」だとか。とても明るい笑顔で教えてくれたこと、そして最近、目に見えて前向きに取り組んでいる様子が分かることに本人の成長が感じられ、担任としても「とても嬉しい」ということでした。生徒とよく話をしていたことで、変化を見つけることができたことから、保護者にもお伝えすることができ、ご理解していただいたこと、そこから本人が前向きになってくれたことに充実感を得ることができたとのことでした。話の最後に「おうちの方の言葉には、力がありますね。」という一言が印象に残りました。決して「自分が面倒を見た」と言わないところが、すばらしいと感じました。その保護者の方と担任の考え方に感動し、私まで嬉しくて温かい気持ちになりました。

間もなく、卒業式です。義務教育の終了を迎え、保護者のみなさまも感無量のことと存じます。心よりお祝い申し上げます。「予測困難な時代」を生きる子どもたちには、失敗を恐れず、希望をもって育ててほしいと期待しています。保護者のみなさまには、時には近くで、時には少し離れた視点で支えてあげていただきたいと思います。白幡中学校での3年間、子どもたちはたいへん頑張り成長してくれました。まだまだ十分な指導とは言えなかった点もあるかと思えます。様々な課題を共有し、成長の糧として今後も邁進してまいりたいと思います。お子様の成長を期待し、お祝いとさせていただきます。

地域のみなさま、日頃より白幡中学校の教育活動へのご理解ご協力いただき、また生徒を見守っていただきありがとうございます。心より感謝申し上げます。今年度も卒業式を迎え、子どもたちが巣立ってまいります。本校への温かいご支援同様、卒業する子どもたちが地域の一員として成長していけるよう、お力添えをいただきますよう、よろしく願いいたします。